

販売電力量の概要

“契約電力の減少などから前年度比1.1%減”

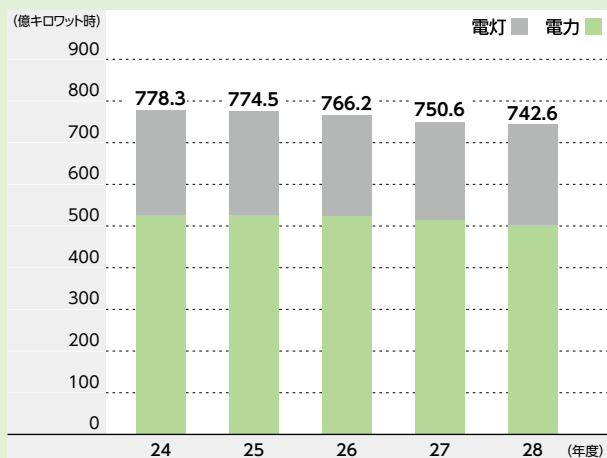
平成28年度の販売電力量は、前年に比べ夏場後半の気温が高く冬場の気温が低く推移したことによる冷暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、前年度に比べ1.1%減の742億6千万キロワット時となりました。

このうち電灯需要については、前年度に比べ1.3%増の240億キロワット時、電力需要については、前年度に比べ2.1%減の502億5千万キロワット時となりました。

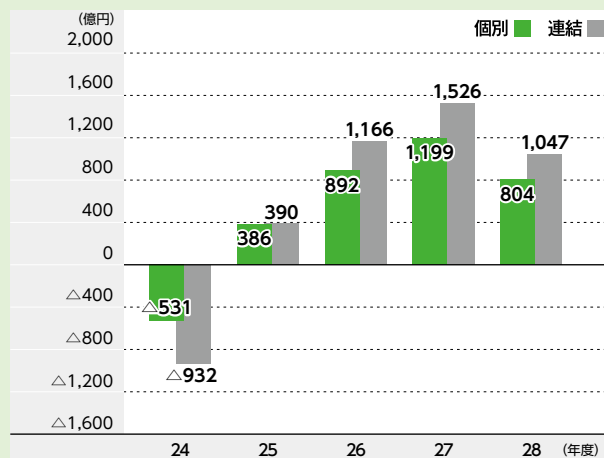


お客さまへの電気利用に関わる提案活動の様子

■販売電力量の推移



■経常損益の推移



収支の概要

“減収減益となるものの一定の利益水準を確保”

平成28年度の連結収支は、収益面では、当社において、販売電力量ならびに燃料費調整額の減少などにより電灯・電力料が減少したことなどから、売上高（営業収益）は前年度に比べ1,460億円（7.0%）減の1兆9,495億円、経常収益は前年度に比べ1,488億円（7.1%）減の1兆9,558億円となりました。

一方、費用面では、退職給付費用が増加したものの、燃料価格の低下や円高などにより燃料費が減少したほか、経費全般にわたり効率化の実施に努めたことなどから、経常費用は前年度に比べ1,008億円（5.2%）減の1兆8,511億円となりました。

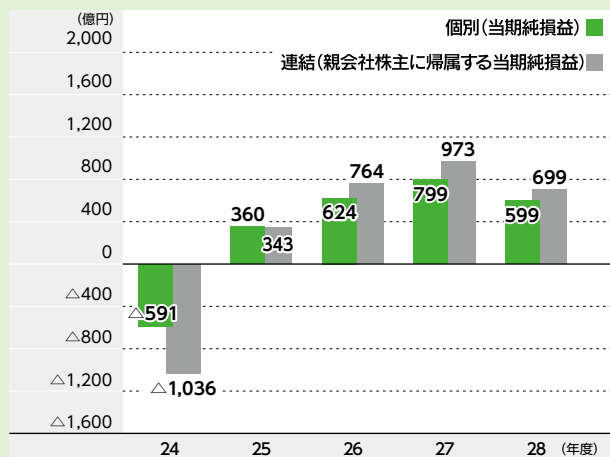
以上の結果、経常利益は前年度に比べ479億円（31.4%）減の1,047億円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度に比べ273億円（28.1%）減の699億円となりました。

なお、個別（当社単独）の経常利益は804億円、当期純利益は599億円となりました。

期末配当金は、上記の決算の状況や財務体質の回復状況などを総合的に勘案し、1株につき20円とさせていただきます。なお、中間配当金15円とあわせた年間配当金は、前年度に比べ10円増の1株につき35円となります。

■当期純損益または親会社株主に帰属する当期純損益の推移



■1株当たりの配当金の推移

